

## 今週のビルマのニュース 2011年7月15日(1124号)

### 国軍、受刑者を紛争地域で使用 駐米大使館からまた亡命者 議連が院内集会

#### 【ビルマ国内・国際関係】

- ・ ビルマ東部で戦闘が続いている。カチン州では10日、国軍がターペインダム周辺でカチン独立軍(KIA)を砲撃(11日イラワディ)。シャン州中央部では13日、国軍がシャン州軍(SSA)部隊を空から爆撃した(14日DVBほか)。同州では国軍兵士が女性・少女を強かんしたとの報告も(「注目アイテム」参照)。
- ・ 米国ビルマ・キャンペーンによれば、駐米ビルマ大使館の一等書記官が13日、米政府に庇護を求めた。同大使館からは首席公使が4日に亡命したばかり。書記官は12日に、家族と共に直ちに帰国せよとの命令を受けており、首席公使の亡命について尋問されることを恐れていたという。(13日RFAほか)
- ・ 「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」が12日、参議院議員会館で院内集会を主催。十数人の議員や多数の在日ビルマ人らが出席し、6月からビルマ北部で起きている国軍とカチン独立軍(KIA)との戦闘の背景や周辺住民への影響、国際社会に求められる対応などについて報告を聞いた。
- ・ 菊田外務大臣政務官は13日、来日中のティンサン・ホテル観光大臣兼スポーツ大臣と会談し、総選挙以降のビルマ政府の動きが「不十分ながらも民主化と国民和解に向けた一歩前進である」との日本政府の考えを説明した。(13日外務省)
- ・ 「ビルマに政治囚は存在しない」とする見解の撤回をビルマ政府に求める手紙を出そうとした政治囚フニンメイアウン氏(女性)が今月7日、刑務所規則に違反したとして家族との面会を認められなかった。氏は07年8月に燃料値上げに抗議する行進に参加して逮捕され、モンユワ刑務所に収容されている(13日イラワディ)。政治囚支援協会によれば、6月末現在1,994人の政治囚がおり、うち145人が女性。

#### 【政府開発援助(ODA)】

- ・ 新たな発表はなし。

#### 【注目アイテム】

- ・ 少数民族武装勢力との武力紛争を続けるビルマ国軍が、受刑者を前線に送り、荷物運搬人や「人間地雷探知機」として使用、虐待している実態についてヒューマン・ライツ・ウォッチが報告書を発表(13日)。  
<http://www.hrw.org/en/reports/2011/07/12/dead-men-walking-0>
- ・ 中国CPICが、カチン州のミッソソダムについて「必要なし」との評価を無視して建設を続けている、とビルマ河川ネットワーク(14日プレスリリース)。09年に行われた調査報告書(未公開)を入手・分析。  
<http://www.burmariversnetwork.org/actions/press-releases>
- ・ シャン州北部で5日、ビルマ国軍兵士がシャン民族女性・少女4人を強かん。シャン女性行動ネットワークなどが「国軍は、北部シャン州軍に対する軍事作戦の一環で強かんを戦術として使っている」と非難(14日プレスリリース)。地図なども：<http://www.shanwomen.org>

#### 【イベント情報】( [ ] 内は主催者。共催等は省略)

- ・ [国民民主連盟(解放地区)日本支部] 殉難者の日記念抗議行動(ビルマ大使館前、19日15時~16時)
- ・ [アムネスティ・インターナショナル日本・山口グループ] ドキュメンタリー『ピュア 希望の鐘』上映・講演会(山口市市民活動支援センターさぼらんて、23日14時~16時、開場13時半)
- ・ [アムネスティ福島グループ結成準備委員会] ドキュメンタリー『ピュア 希望の鐘』上映・講演会(チェンバおおまち3階福島市市民活動サポートセンターA1会議室、30日13時半~15時)
- ・ [アジア経済研究所] 2011年アジア経済研究所夏期公開講座・コース8「ミャンマーの2011年の民政移管：政治・経済状況の整理」(ジェトロ東京本部、8月1日10時半~16時半)★要申込・有料

もっと詳しい情報・お問い合わせは  
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>